

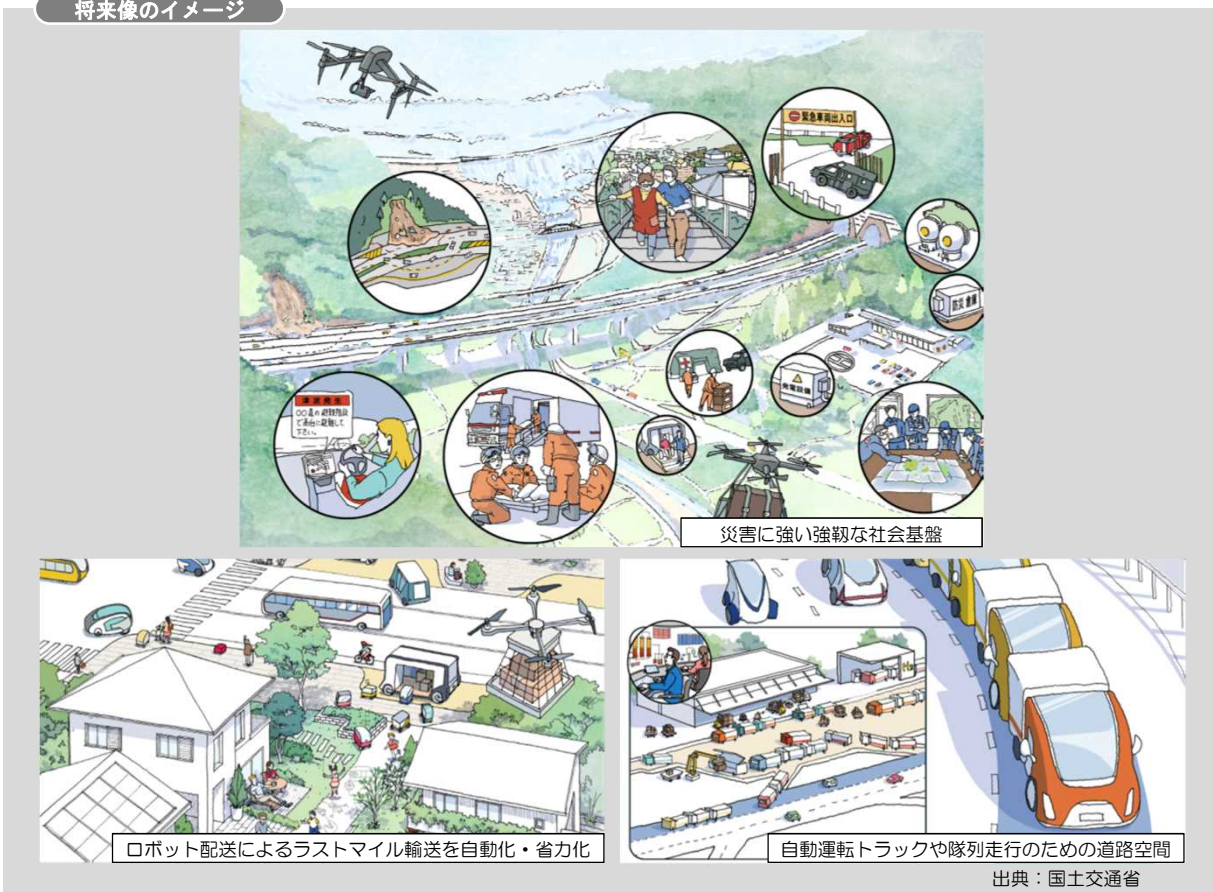
2040年に目指す将来像

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県
誰もが安全・快適に移動でき、人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県
地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

1 災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

- 気候変動の影響等による頻発化・激甚化する気象災害を踏まえた防災インフラの整備が進み、経済活動の継続性が確保され社会的・経済的損失のリスクが低くなっている。
- 異常気象時にわかりやすい防災情報が発信されるとともに、県民一人ひとりの高い防災意識により、迅速かつ適切な避難行動がとられるようになり人的被害のリスクが低くなっている。
- 自動運転トラックによる幹線輸送、ラストマイル*におけるロボット配送等により、自動化・省力化された物流が、平時や災害時を問わず県民の生活や経済活動を支えている。
- 防災インフラの整備が進むことで、災害発生時の被害を最小限に抑えるとともに、災害発生直後から、ライフライン*等の重要インフラの機能が維持され、迅速な救助や復旧・復興が可能な強靱な県土と経済社会システムが備わっている。
- 水害対策とまちづくりの連携が進み、水害リスクの低い区域への居住や開発の誘導が図られることで、危険にさらされる人命・財産が大きく減少している。
- 建設産業の魅力が高まり、若者を中心に社会資本の整備や維持管理に必要な人材が確保され、災害時等においても地域の安全を守る体制が維持されている。

将来像のイメージ

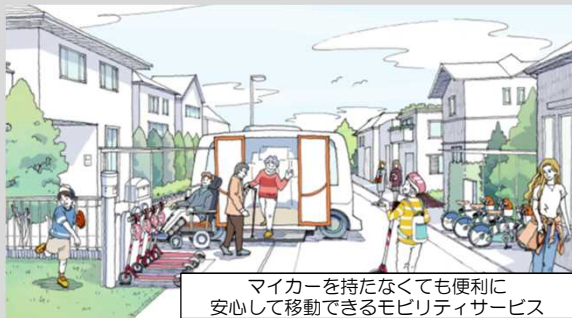


※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

2 誰もが安全・快適に移動でき、人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県

- 自動運転の普及や次世代型公共交通システムなどにより、さまざまな移動手段がシームレス※につながり、子どもから高齢者まで誰もが、マイカーを持たなくても安心して安全、便利に移動できるようになっている。
- 物流・人流を支える効率的・効果的な道路ネットワークが構築され、渋滞のない定時制が確保された快適な移動ができる社会になっている。
- 人と車両が道路空間を上手にシェアしながら、安全で快適な移動や憩いの場として利用ができる交通事故のない道路空間が形成されている。
- 医療・福祉・商業施設や居住地がコンパクトに集約され、子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に生活しやすい社会基盤が形成されている。

将来像のイメージ



マイカーを持たなくても便利に安心して移動できるモビリティサービス



安全性や快適性が確保された歩車共存の生活道路

出典：国土交通省

3 地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

- まちのメインストリート等が、行きたくなる、居たくなる美しい公共空間に生まれ変わり、にぎわいに溢れたコミュニティ空間が創出されている。
- 電気自動車や燃料電池自動車、公共交通や自転車のベストミックスによる低炭素道路交通システム※が、地球温暖化の進行を抑制している。
- 既存インフラの疲労・劣化のリアルタイム監視やビッグデータ※処理による補修計画策定、小型ロボットによる自動計測・補修が行われており、省力化による効率的な点検・維持管理業務により、生活を支える社会資本が適正に維持されている。
- 日本風景街道※、道の駅等が国内外から観光客が訪れる拠点となり、多言語案内等きめ細やかなサービスの提供により、外国人観光客や外国人定住者の利便性・満足度が向上し、県内各地で多様な国々の人々と地域の人々の交流が盛んになっている。
- テレワークの定着により、良好な自然環境・生活環境を持つ、県内への移住者が増加している。

将来像のイメージ



人中心の空間として再生した、まちのメインストリート



AIや新たな計測・モニタリング技術によりインフラの点検・診断を自動化・省力化

出典：国土交通省

※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。